



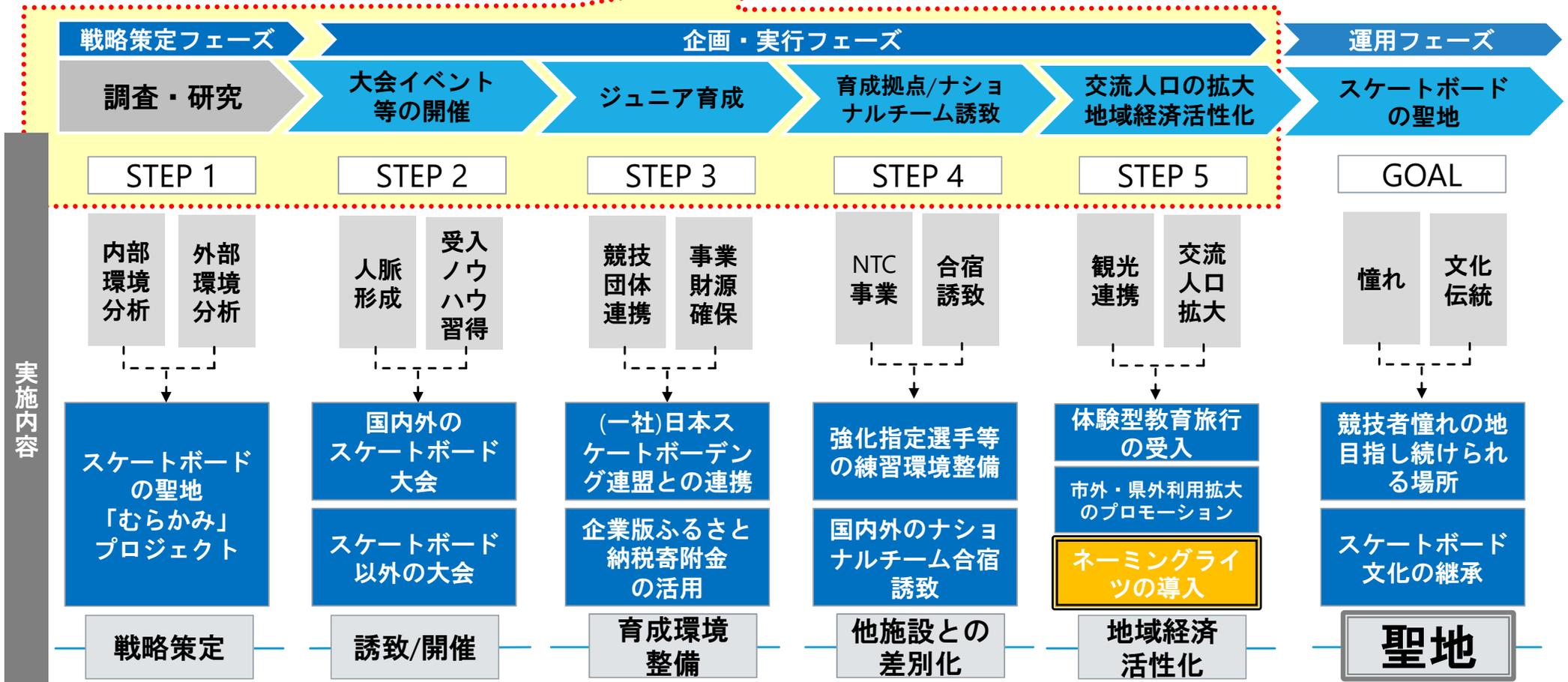
村上市スケートパーク ネーミングライツパートナー募集 (スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト)

MURAKAMI CITY SKATE PARK

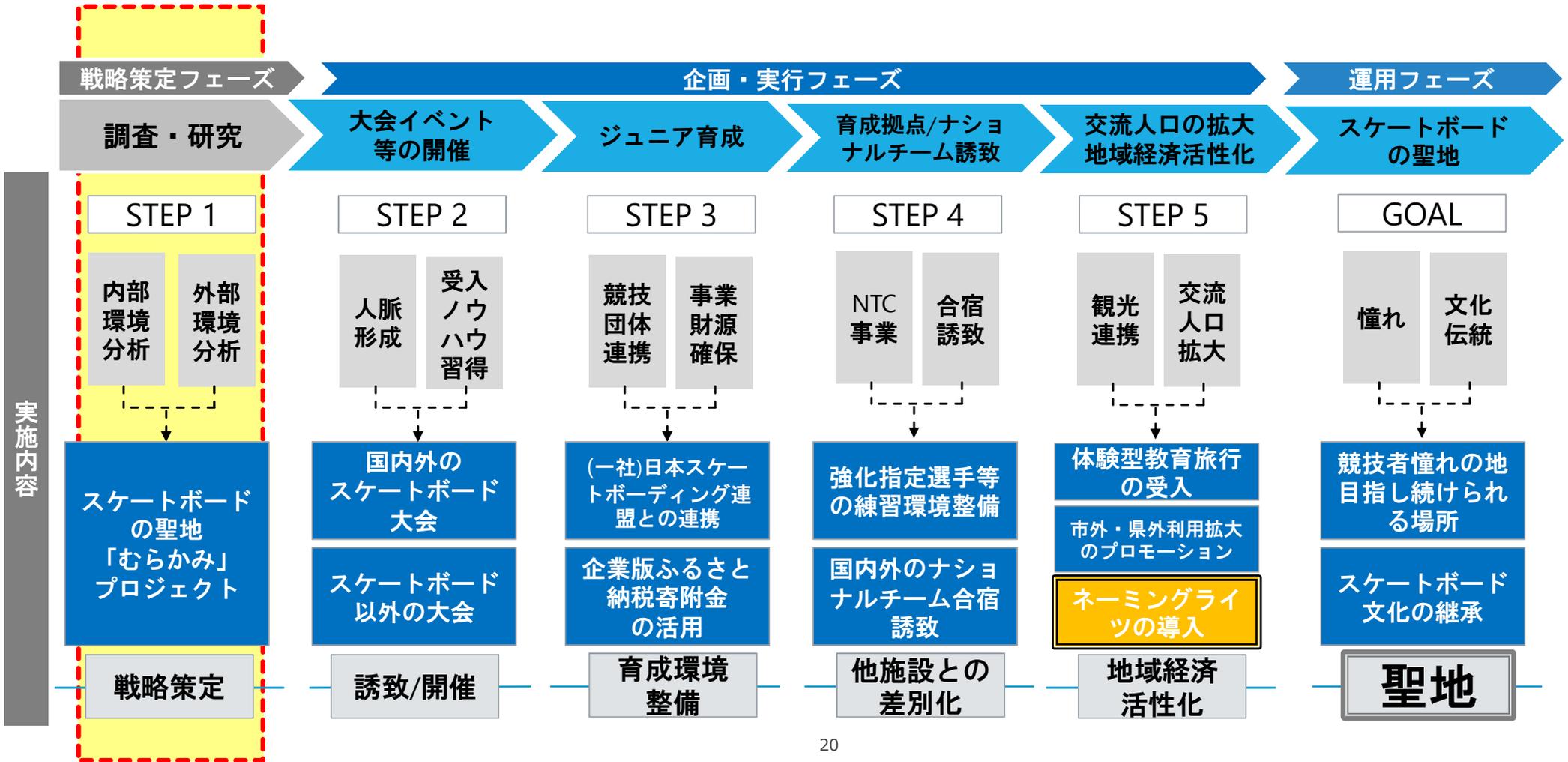


STEP1~5 スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト戦略

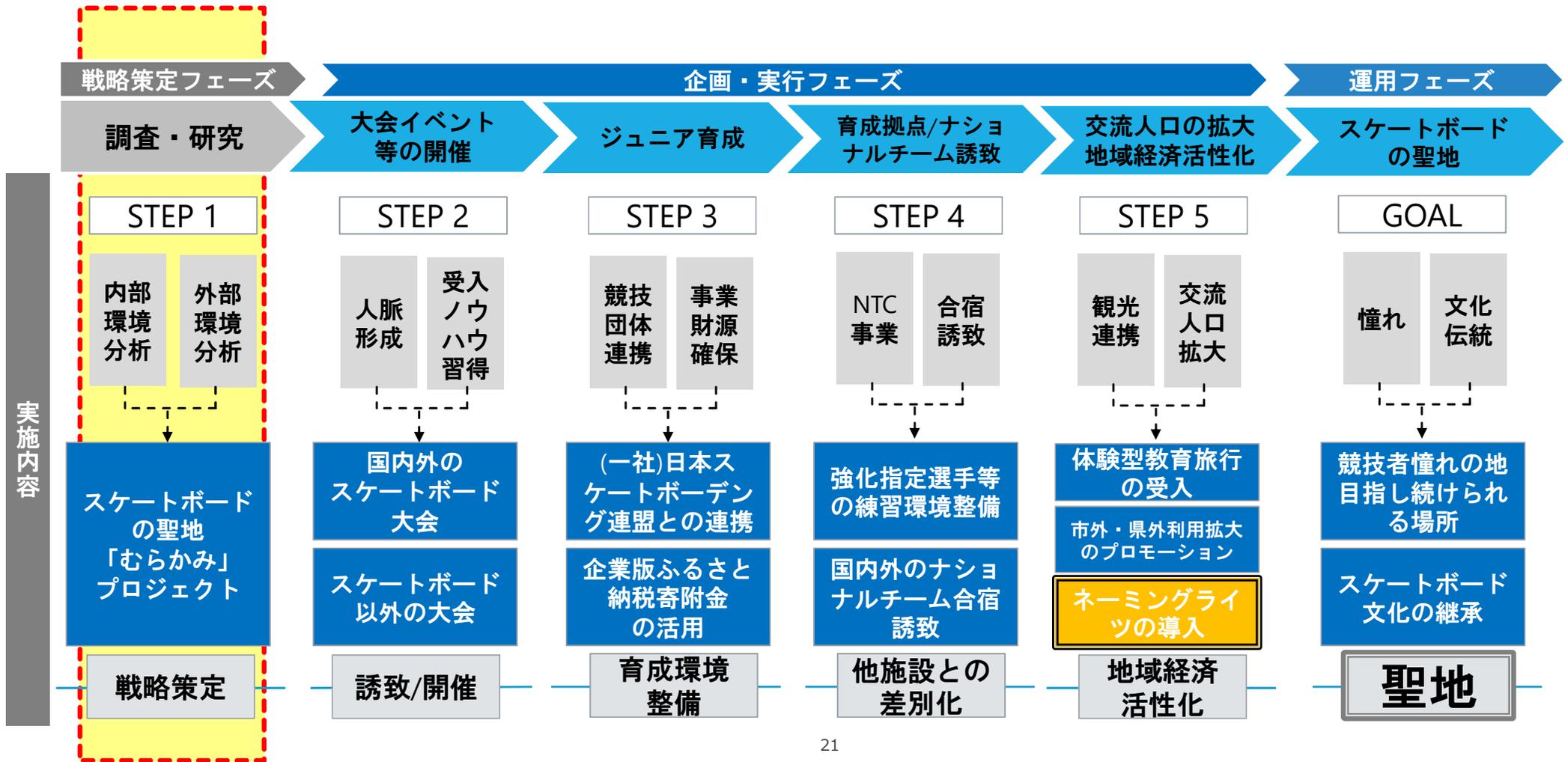
現在は、STEP5まで取組を実施中



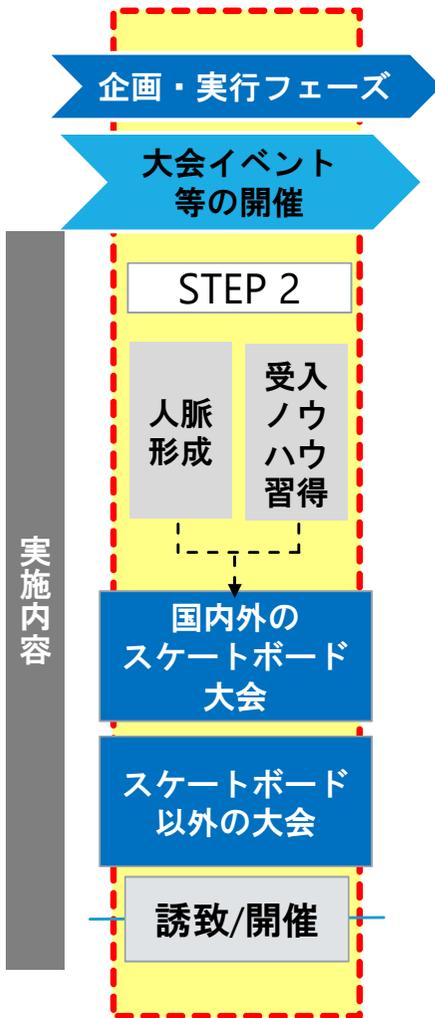
STEP1 スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト戦略



STEP1 スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト戦略



STEP2 スケートボード大会イベント等の開催



代表的な大会イベント



- 【R元.5.10~12・R4.11.24~27】
 ~(一社)ワールドスケートジャパン~
- 日本スケートボード選手権大会
 スケートボードの国内最高峰の大会である日本選手権



- 【R4.9.23~25・R5.6.9~11】 ~SPOT TAMPA~
- DAMN AM JAPAN
 アメリカタンパで行われる世界規模のアマチュア頂上決戦TAMPA AMの出場権をかけた日本大会



- 【R5.11.18~19】 ~DWSドローンスクール新潟村上~
- 村上ドローンレース2023
 ドローンの普及を進めるため、子どもを含む若い世代に興味を持ってもらうこと目的とした大会

STEP3 ジュニア育成

ジュニア育成環境 「教室」・「スクール」・学校授業での利用

企画・実行フェーズ

ジュニア育成

STEP 3

競技
団体
連携

事業
財源
確保

(一社)日本ス
ケートボーデ
ング連盟との連携

企業版ふるさと
納税寄附金
の活用

育成環境
整備



- 初心者体験教室（毎週：火曜日開催）
- ミドルクラススクール（毎週：水曜日開催）
- アスリートクラス育成環境整備事業(2回/月開催)
～(一社)日本スケートボーディング連盟～



- 学校体育支援事業
市内保育園、小・中学校の体育授業（総合学習）
にスケートボード等を採用し、普及・育成
～(一社)日本スケートボーディング連盟～
スケートボード指導
～総合型地域スポーツクラブ～
ボルダリング・スラックライン・モルック指導



- 企業版ふるさと納税寄附金を活用した選手育成
まち・ひと・しごと創世寄附活用事業による育成環
境の整備

STEP4 育成拠点/ナショナルチーム誘致

企画・実行フェーズ

育成拠点/ナショナルチーム誘致

STEP 4

NTC
事業

合宿
誘致

強化指定選手等
の練習環境

国内外のナショナルチーム合宿
誘致

他施設との
差別化

実施内容

育成拠点・トップアスリートの受入れ



- ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設
指定期間：R4.3.30~R7.3.31（3年間）
実施内容：強化指定選手等(62名)の練習環境整備
エアマット・動作解析ほか

※スポーツ庁より国内唯一のスケートボード競技のNTCに指定
※オリンピックに向けた国内トップレベル競技者の強化トレーニング環境を提供

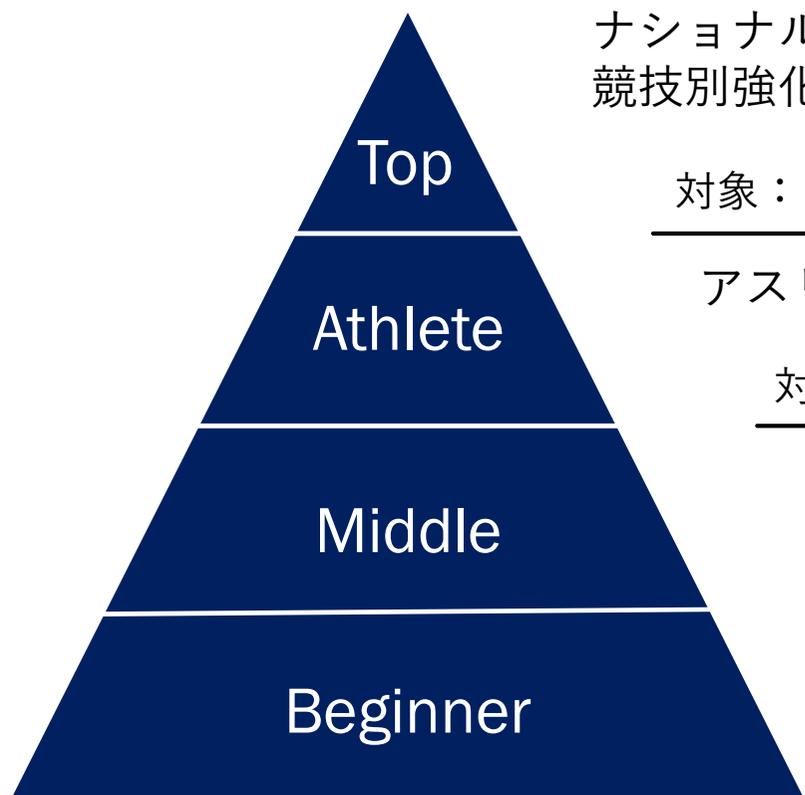


- 日本代表合宿
 - ・Tokyo2020大会の事前合宿
合宿期間：R3.7.9~R3.7.28
 - ・強化合宿
合宿期間：R4.8.18~R4.8.21



- 海外ナショナルチーム合宿
受入チーム：インドネシア、大韓民国、台湾、中国
※大韓民国は、R1.11、R4.8、R5.8、R5.11受入

村上市スケートパークにおける育成環境



ナショナルトレーニングセンター
競技別強化拠点機能強化事業

対象：トップレベル競技者 **62名**

アスリートクラス選手育成環境整備事業

対象：上級者 **16名**

ミドルクラス育成スクール

対象：中級者

初心者体験教室

対象：初心者

Road to LA



STEP5 交流人口の拡大/地域経済活性化

企画・実行フェーズ

交流人口の拡大 地域経済活性化

STEP 5

観光
連携
交流
人口
拡大

体験型教育旅行
の受入

市外・県外利用拡大
のプロモーション

ネーミングライ
ツの導入

地域経済
活性化

地元アスリート・民間活力の導入による交流人口の拡大



- 村上スノーリサーチ&トレーニングセンター
ハーフパイプのエアをオフスノーで再現する施設
- ・ 設立日 R6.9.14
- ・ 設置者 株式会社L・Sカンパニー
- ・ 協賛 (株)ユニクロ・(株)ブルボン・(株)吉増製作所
イフイング(株)・MONSTER ENERGY

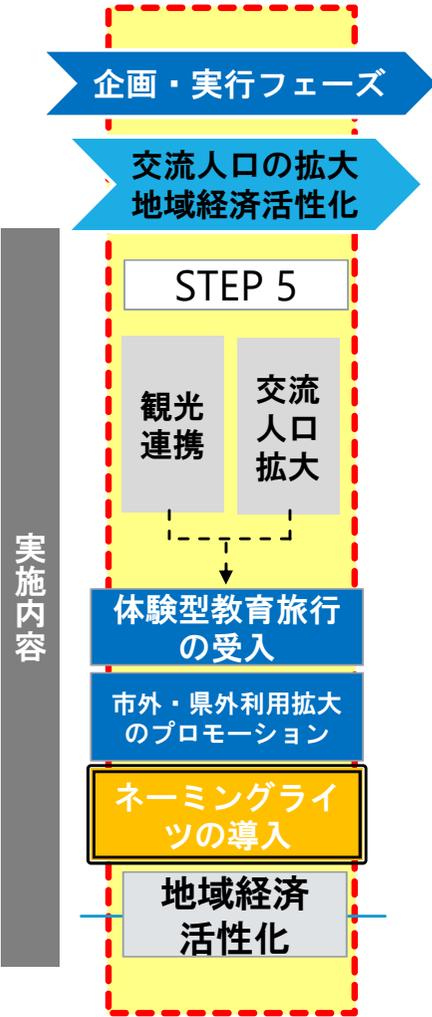
観光とスポーツの結びつきの取組



- 体験型教育旅行
 - ・ 令和4年度受入数 15校
(令和2年度から開始)
- 合宿による観光連携
 - ・ 令和5年度受入数 5チーム

実施内容

STEP5 交流人口の拡大/地域経済活性化 ネーミングライツパートナーの導入



企画・実行フェーズ

交流人口の拡大
地域経済活性化

導入趣旨

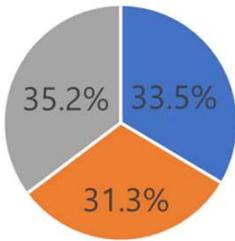
ネーミングライツパートナーの募集

- ①持続可能な施設運営の維持
 - 継続的に子どもたちの育成環境を支援
- ②サービス向上
 - ネーミングライツパートナーとの連携事業等による満足度向上
 - 新規利用者の獲得と施設に愛着が沸きリピーターが増加

施設の特徴

①

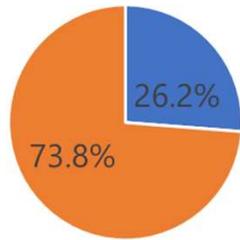
若者やアクティブな人々がアジア圏や全国から集う



■ 市内 ■ 新潟県内市外 ■ 県外

アリーナ利用者の
約**67%**が村上市外

アリーナ利用者の
約**74%**が18歳以下



■ 大人 ■ 子ども

STEP5

交流人口の拡大/地域経済活性化

ネーミングライツパートナーの導入

企画・実行フェーズ

交流人口の拡大
地域経済活性化

STEP 5

観光
連携交流
人口
拡大体験型教育旅行
の受入市外・県外利用拡大
のプロモーションネーミングライ
ツの導入地域経済
活性化

実施内容

施設の特徴

②

イベント・大会・選手取材・教育旅行広報誌等媒体露出の多様化

村上市スケートパークでは、イベント・大会・選手取材や教育旅行の広報紙等まで媒体露出が多様化しています

- テレビ局、新聞、ウェブサイトや教育旅行の広報紙など
- 利用者自身がSNS（主にInstagram）に掲載する露出が多く世界のスケーターに露出しています

施設の特徴

③

学校授業の総合学習でスケートボードを採用

村上市スケートパークでは、令和2年度から村上市内の保育園・小学校を対象に学校授業の総合学習でスケートボードを採用しスケートボーダーの裾野拡大に取り組んでいます
※おそらく全国初の取組です

- 令和5年度は713人の児童が来館。

STEP5 交流人口の拡大/地域経済活性化

ネーミングライツパートナーの導入

企画・実行フェーズ

交流人口の拡大
地域経済活性化

STEP 5

観光
連携

交流
人口
拡大

体験型教育旅行
の受入

市外・県外利用拡大
のプロモーション

ネーミングライ
ツの導入

地域経済
活性化

実施内容

施設の特徴

④

世界のトップクラス選手が利用

ナショナルトレーニングセンター指定により、国内トップ強化指定選手が通年強化練習を行なっております。また、アジア圏（インドネシア、韓国、台湾、中国）からも合宿で訪れていただいています。

導入効果

①

長期的な広告効果

ネーミングライツパートナーになることで、企業名やロゴがスケートパークの名称や関連広告物に表示されるため、長期間にわたり企業のブランドが露出されます。



STEP5 交流人口の拡大/地域経済活性化 ネーミングライツパートナーの導入

企画・実行フェーズ

交流人口の拡大
地域経済活性化

STEP 5

観光
連携
交流
人口
拡大

体験型教育旅行
の受入

市外・県外利用拡大
のプロモーション

ネーミングライ
ツの導入

地域経済
活性化

実施内容

導入効果

②

ターゲットとの強い結びつき

村上市スケートパークは、若者やアクティブな人々の集まる場所であり、特定のターゲットに向けた広告・マーケティングを展開できます。



導入効果

③

媒体露出の多様化

村上市スケートパークは、様々なメディアやフォロワー数が多いメダリストを含むトップ選手のSNS投稿による施設名の露出が期待されます。パートナーは、これらの媒体を通じて追加の露出を得ることができます。

STEP5 交流人口の拡大/地域経済活性化 ネーミングライツパートナーの導入

企画・実行フェーズ

交流人口の拡大
地域経済活性化

STEP 5

観光
連携
交流
人口
拡大

体験型教育旅行
の受入

市外・県外利用拡大
のプロモーション

ネーミングライ
ツの導入

地域経済
活性化

実施内容

導入効果

④

キャンペーンやプロモーションの展開

村上市スケートパークで開催されるイベント・大会等を開催する際、キャンペーンやプロモーションにより効果的な広告手段を展開できます。



導入効果

⑤

知名度・イメージの更なる向上

世界で羽ばたこうとするトップアスリートからスケートボードを始めたばかりの子ども達が練習する施設のパートナーとなることは、企業イメージの向上と知名度の更なる向上及び「元気な企業」のイメージを発信します。

全国スケートパークとの連携 ▶ 全国スケートボード施設連絡協議会の設立



ORGANIZATION OVERVIEW

組織概要

- 名称 全国スケートボード施設連絡協議会
- 設立 令和4年11月26日
- 構成 13自治体（令和6年4月1日現在）

ACTIVITY POLICY

活動方針

- 目的 各施設の課題解決や普及推進のため連携し、スケートボード競技の発展、生涯スポーツの推進と地域振興に寄与することを目的とする
- 目標 競技人口の増加、施設利用者増加、地域の活性化、生涯スポーツとしての定着、競技力の向上、利用者が満足する施設運営



GOAL スケートボードの聖地

企画・実行フェーズ

スケートボードの聖地

GOAL

憧れ 文化伝統

競技者憧れの地
目指し続けられる場所

スケートボード
文化の継承

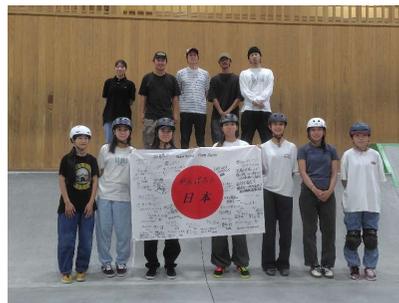
聖地

実施内容

スケートボードの聖地へ



▲Paris2024大会
銀メダリスト赤間凜音選手



■むらかみをスケートボードの聖地へ

- ◆ 競技者が憧れる場所
- ◆ 多くのスケートボーダーがむらかみを目指して集まる。
- ◆ トップアスリートになる夢をかなえられる育成環境。
- ◆ スケートボードが習い事の定番に
- ◆ 人と人との心を繋ぐ文化をむらかみに